

2108年9月28日(金) 16:00~16:45

[報告]

SGH DR3による多賀城高等学校との交流プログラム・第1回Zoom-Zoom会議※

1 テーマ

「震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)の担い手となる」

2 目的

被災地域との学校交流を通して、大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的な視点から学ぶ。

- ① 身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう地域災害について学ぶ。
- ② 人文科学・自然科学の両面から震災を捉え、地域の課題について考える。
- ③ どのような減災・防災教育を行えるか考える。
- ④ 上記活動を通して、他を思いやることのできる生徒を目指す。

3 Zoom-Zoom会議のプログラム 進行：多賀城高等学校生徒会

- 自己紹介
- ① 交流のあり方について確認
- ② 共同研究テーマの検討
- ③ その他



Zoom-Zoom会議の様子



左 多賀城高等学校、右 DR3



右 第1回Zoom会議の議題

4 会議の決議・確認事項

- ① 昨年度までの減災カードゲーム開発は終了し、両校共通テーマと各校テーマを新たに設定して、Zoom会議や現地訪問(互いに年1回)により研究活動を進める。
 - ② 共通複数年テーマ：復興住宅と地域コミュニティ
単年度各校テーマ：都市型津波、災害ボランティア、減災・防災教育プログラム
 - ③ 尼崎ローカルラジオ番組の震災企画への出演依頼→承諾(熊本、高槻、宮城・多賀城、本校)
- 次回Zoom会議予定 10月12日(金)16時、進行は本校

※Zoom-Zoom会議は宮城教育大学が進める「システム使用による変容・影響の調査研究」に協力し、指導を受けて月1回実施